令和6年4月19日　作成

株式会社マルミツ

環境経営レポート

≪ご挨拶≫

当社は、1991年2月に株式会社マルミツとして群馬県高崎市矢中町353-2
創業いたしました。お客様の幅広いニーズにお応えするため、厨房設備工事、
空調設備工事、衛生設備工事の３分野を軸に、多種多様なサービスを行って参りました。
その後、社屋を一新し現在の高崎市矢中町352-7へ移転し、現在に至っております。
創業以来、『安心・安全・技術・喜び・未来』を創造する会社であることを企業理念としております。
私達は社員一人一人が向上心と責任感を持って、業務を遂行するとともに、地元地域や営業活動を
行うすべての場所において、地球環境を配慮した事業活動を行うことが大切であると考えます。

そこで、お客様にも地球にもやさしい企業の活動のひとつとして、エコアクション２１に取り組み、
『環境経営レポート』を取りまとめました。
皆様に、ご高覧の上ご指導を頂きまして、この『環境経営レポート』を軸に今後の環境活動の
取り組みに生かして行きたいと存じます。

株式会社マルミツ
代表取締役
髙橋　利光

≪目次≫

１．環境方針　P-1

2.　事業活動の規模　P-2

3.　EA21推進体制　P-3

4.　環境目標とその実績　P-4

5.　環境活動の取組計画と評価　P-5

6.　環境関連法規制の遵守　P-6

7.　代表者による全体評価と見直しの結果　P-7

１．環　境　方　針

〔基本理念〕

私たちは、”お客様に『安心・安全・技術・喜び・未来』を創る会社”という企業理念に基づき
省エネルギー・省資源、廃棄物削減を課題のひとつと認識し
循環型社会を積極的に推進し、一致団結して地球環境の保護活動に努めます。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

１．当社の主力事業である、厨房設備販売・空調設備施工・配管設備施工の各領域において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型社会の実現に努めます。
　①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・使用化石燃料削減・廃棄物の単純焼却の削減に努めます。
　②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再使用の向上に努めます。
　③限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。

２．作業効率の良い厨房設備等の販売により、顧客の作業環境の向上、並びに環境負荷低減に貢献します。

３．環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境目標・環境活動計画を策定し取組みます。策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。

４．事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。

５．環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図ります。

６．環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

〔スローガン〕

一人ひとりが自主的に、向上心と責任感を持って地域環境を守ります。

２０２２年　7月　１日

株式会社　マルミツ

代表取締役

髙橋　利光

２．事業活動の規模

1.　事業所及び代表者名 株式会社マルミツ
代表取締役　髙橋　利光

2. 所在地
本社　：　〒370-1203　群馬県高崎市矢中町352-7
資材置き場　：　〒370-1203　群馬県高崎市矢中町358－1

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者　：　代表取締役　髙橋　利光
環境管理責任者　：　黒石　寿幸
担当　：　ＥＡ２１事務局　飯島・登坂
TEL　：　027-353-3749
FAX　：　027-353-4051

4. 対象範囲

株式会社マルミツ　全組織・全部門

5. レポートの対象期間

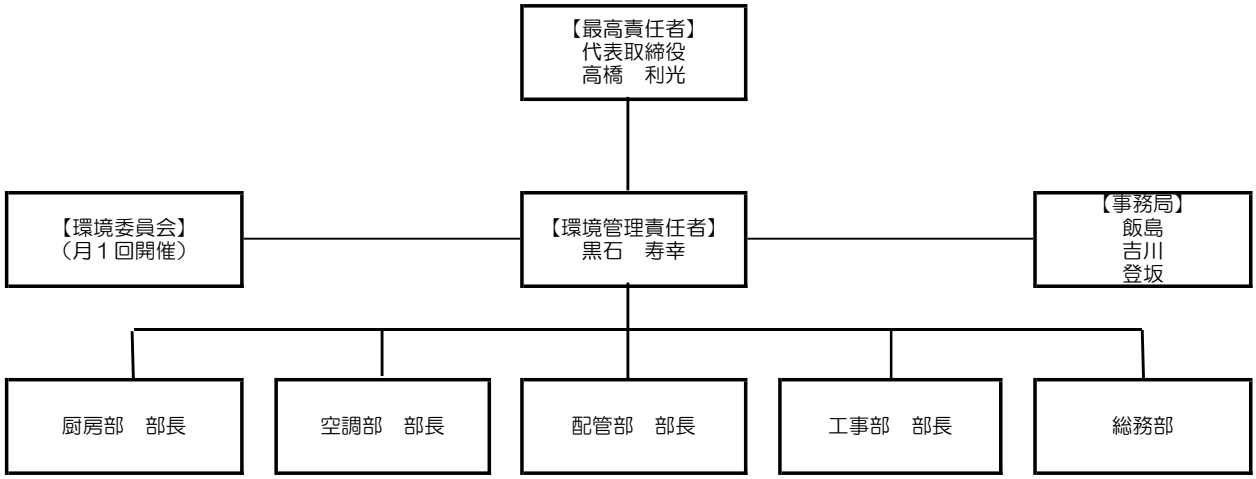
33期（2022年7月～2023年6月）の12ヶ月間の活動。

6. 事業の内容
管工事業
厨房設備及び付帯工事
空調設備・衛生設備工事
群馬県知事　許可【般ー29）第　16912号
令和4年10月4日から令和9年10月3日まで
建築工事業
群馬県知事　許可【般ー2）第　16912号
令和2年12月25日から令和7年12月26日まで
産業廃棄物収集運搬業（自社運搬のみ）
汚泥　廃油　廃プラスチック類　紙くず　繊維くず　ゴムくず
金属くず　ガラスくず・コンクリートくず　がれき類
群馬県　第01000206525号 平成31年3月25日～平成36年3月24日　※更新手続き中
埼玉県　第01100206525号 平成31年4月23日～平成36年4月22日　※更新手続き中
栃木県　第00900206525号 令和元年5月9日～令和6年5月8日　※更新手続き中

7. 事業規模

活動規模	単位	2019年度（30期）	2020年度（31期）	2021年度（32期）	2022年度（第33期）
工事件数	件	58	64	45	100
売上高	百万円	319	290	440	658
従業員数	人	12	12	12	12

3.エコアクション２１　推進組織図



職名	役割
最高責任者	【代表取締役　高橋利光】 ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用･維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境方針を制定する。 ④エコアクション21の構築･運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	【黒石　寿幸】 ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的･効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築･運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	【飯島・登坂】 ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	全社員が参加し、開催日は毎月第3水曜日セミナー内で行う 環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。 環境管理責任者が必要と認めた場合は、定期開催日以外にも召集することが出来る。

4. 環境目標とその実績

期間：2022年7月1日～2023年6月30日

No.	環境目的			今年度の目標	今年度の実績	管理項目 実施事項
	項目	基準年 （実績）	3年後の目標			
1	二酸化炭素 排出量の削減	2021年度 （54351㎏-CO2）	2021年度に対して3%減 （52720㎏）	前年度に対して1%減 （53808ｋｇ）	前年度に対して-4.78% （50976ｋｇ）	①空調温度適正化・表示 ②照明・ＰＣ電源不要時のＯＦＦの推進 ③エアコン清掃の実施 ④車の荷物整理 ⑤社用車の点検・整備 ⑥電力、ガソリン量の集計 ⑦原因分析と削減方法の検討
2	廃棄物の削減	2021年度（4.508）	2021年度に対して3%減 （4.37276ｔ）	前年度に対して1%減 （4.46292ｔ）	前年度に対して31.0%増 （5.90422ｔ）	①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③廃棄物排出量の集計 ④原因分析と削減方法の検討
3	水資源 投入量の削減	2021年度（332㎥）	2021年度に対して3%減 （322.04㎥）	前年度に対して1%減 （328.68㎥）	前年度に対して39.5% 増　（463㎥）	①毎月のメータを確認する（漏水防止） ②節水表示 ③原因分析と削減方法の検討
4	グリーン購入 の推進	―	購入品ﾘｽﾄによるｸﾞﾘｰﾝ 購入の徹底	購入品ﾘｽﾄによるｸﾞﾘｰﾝ 購入の徹底	購入品ﾘｽﾄの作成 及び購入徹底	①購入品の調査 ②グリーン購入品の選定 ③グリーン購入品の決定
5	化学物質取扱 及び管理の徹底	―	管理の徹底	使用量の測定及び管理	管理の徹底	①取扱商品の把握 ②取扱商品の保管管理
6	本業に関する目標 作業効率の良い 厨房設備の販売	4件 （2021年度）	10件	7件	10件	①効率よい厨房機器の販売

※二酸化炭素排出量を把握する際に用いた、購入電力排出係数　0.491（kg-CO2/Kwh）

5．環境活動計画の取組みと評価

＊2022年7月～2023年6月の12ヶ月の活動の取組みと評価をしております。

活動計画・達成状況	環境活動計画の取組み結果の評価
1．二酸化炭素排出量の削減 『目標』 2021年度に対し、1%削減 **目標の達成状況：◎-4.78**	電気使用量とガソリンは、減ったが 建設現場等の購入電気と軽油は増えてしまった
	次年次への取組内容
	引き続き、エコドライブ、節電、ごみ分別を徹底したい。
2．廃棄物排出量の削減 『目標』 2021年度に対し、1%削減 **目標の達成状況：+31.0**	今年度は工事の数が多く、目標を達成することが出来なかった。
	次年次への取組内容
	より一層養生品などの再生利用に取り組む
3．水資源投入量の削減 『目標』 2021年度に対し、1%削減 **目標の達成状況：+39.5**	水の排水量も大幅に増えてしまった。
	次年次への取組内容
	引き続きより一層節水を心掛け、取り組む
4．グリーン購入比率の向上 『目標』 現状把握 **目標の達成状況：　◎**	グリーン購入品を意識的に購入した。
	次年次への取組内容
	引き続き継続する
5．化学物質取扱及び管理の徹底 『目標』 取扱量の把握 **目標の達成状況：　◎**	使用溶剤のリストアップや使用方法の掲示、購入量の記録表を作ることができた。
	次年次への取組内容
	引き続き、活動を行っていく。
6．本業に関する目標 『目標』 作業効率の良い厨房設備の販売 **目標の達成状況：　◎**	作業効率の良い厨房設備の販売
	次年次への取組内容
	引き続き継続した活動を行っていく。

６．環境関連法規制の遵守

１．当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守状況
自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別処置法	遵法
水質汚濁防止法	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	遵法
労働安全衛生法	遵法
消防法	遵法
フロン排出抑制法	遵法

２．環境関連法規への違反、訴訟等の有無
当該年度における環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への
違反はありません。
尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7.代表者による全体評価と見直しの結果

昨年に続きさらに燃料、消耗品、部材棟すべてが30%ほど値上がりし、さらに

4/1～再値上げが要求されています。

マルミツとしてできるだけローコストを実現する為にも、エコアクション活動は

大切になってきています。養生シートの再利用によるビニール廃棄の軽減、

作業の効率UPによる時短、残業の軽減、やれることはまだまだたくさんあります。

他人任せでなく、”自分から”進んでやり仲間と楽しみながら、行っていきます。